

フラワーエッセンスが導く人生の解説書

フラワーエッセンスの作り手たちが伝える、あなたへのメッセージ

～フラワーエッセンスコンファレンス 2014 より～



11のエッセンスメーカーの作り手たちが、エッセンスとの出会いや作り始めたきっかけ、歴史、未来への展望などについて語った、ここでしか読めない貴重なお話が詰まった1冊です！その他、14のエッセンスメーカーのご紹介や2014年フラワーエッセンスコンファレンスでのスピーチやワークショップでの一部もご紹介しています。バッチフラワーエッセンスのジュリアン・バーナードさんには、バッチフラワーエッセンスの誕生とその効果についても語っていただいています。



この1冊でまるごとフラワーエッセンスの魅力がわかるおススメの1冊です！



2014年のコンファレンスはフラワーエッセンス界の歴史に残るものとなりました。この本は、あの奇跡のような5日間を存分に味わうことができる1冊となっております！彼らの真実に満ちた言葉が、私達の魂を優しく癒してくれるでしょう。ご参加できなかった皆様も、参加した皆様にもご満足いただける1冊です。この本を手にする皆様に、素晴らしい地球の息吹と、プロデューサー達からの心からのハグを送ります！
ネイチャーワールド株式会社 代表取締役 玉井宏
書籍より一部抜粋 ～ インタビューページより



サビーナ・ペティット
馴染み深い水のエネルギーが素早い反応を促す
「サビーナさんはもともと、プロデューサーになるつもりはありませんでした。彼女がエッセンスを作るようになったのは、バンクーバーの土地の力が関係しています。」



タンマヤ
自分の可能性を最大限に生かすエッセンス「タンマヤさんがフラワーエッセンスを作りはじめたのは、ヒマラヤで花から「私を食べてください」と話しかけられたことがきっかけでした。」ヒマラヤの自然の中からささやきが聞こえてきたとき、とうとう気が狂ったのかと自分では思いましたよ(笑)・・・後略



私はもともと、最初からエッセンスをつくらうとは思っていませんでした。1979年のことですが、当時私はまだ政府の仕事をしていました。実はそのときの私は、自分の仕事が好きではなかったのです。そのため、パニック症候群のような症状がでるようになりました。当時はまだそのような病名は存在していませんでしたが、今考えてみると、確かに現在パニック症候群といわれる症状がでていました。そんな私を心配した夫が連れていってくれた場所で、オオハシワタルさんという日本人に出会いました。……………中略……………バンクーバーが持つ土地のエネルギーは非常に強く、私がそこに住もうと思ったのではなく、バンクーバーに呼ばれて住むことになったのです。……………後略……………

イアン・ホワイト
パワフルな土地のエネルギーが詰まったエッセンス「友人のための瞑想の最中にフラワーエッセンスとの出会いを得たイアンさん。瞑想を通して花が見えたのです。」私はもともと自然療法士のようなことやホメオパスとして活動していましたが、ブッシュフラワーに出会う前はバッチフラワーを使っていました。……中略……あるとき最初の瞑想をしていたら花が見えてきたんです。どんな花でどこに咲いているのかそんなイメージが私に降りてきました。……………後略……………